



## テクノロジーで1ゴール：新しいホームグラウンド、サンノゼ・アースクエイクスの勝利



### アバイアスタジアムはMLSの競技場初のクラウド対応

2012年10月のある晴れた日、6千人を超えるサッカーファンが空っぽのフィールドに集まり、彼らのチーム、サンノゼ・アースクエイクスの新たな時代の始まりを応援しました。クエイクスブランド入りのシャベルを手に、全員が2分間地面を掘り、史上最大の参加型起工式として、ギネスの世界記録を打ち立てました。

メジャーリーグサッカー初の記録になりましたが、決して最後というわけではないでしょう。40年前、クエイクスはカリフォルニア、サウスベイで最初のメジャースポーツチームになりました。以来、1人の選手による最多連続ゴールで有名なChris Wondolowskiをはじめ、さまざまな選手がリーグ記録を塗り替えました。

そして今、クエイクスはテクノロジーという新たな領域を切り開くことになりました。新しいホーム、アバイアスタジアムは、国内で技術的に最先端のスタジアムの1つになります。サンノゼ以上にふさわしい場所はありません。

「シリコンバレーのファンは単なる競技場以上のものを期待しているので、このスタジアムを最高水準のイノベーションとファンエンゲージメントが得られる場所にしなければならなかった」と、サンノゼ・アースクエイクスの会長、Dave Kaval氏は語っています。

### ゴール：将来を約束するホームフィールド

サッカーはいまや米国で最も急成長しているスポーツであり、サッカー人口の拡大によってプロスポーツの中でも関心が高まっています。2014年、MLSの観客動員数は6年連続で記録を更新しています。

ほぼすべてのMLSチームが専用スタジアムを所有している状況ながら、クエイクスは最後までホームグラウンドがなかった2チームのうちの1つでした。チームは長年、ホーム



「アバイアスタジアムによって、ベイエリアの観光名所に美しい場所が加わりました。40年に及ぶハードワークがここに蓄積されています。ファンも選手も地域社会も大喜びしています。組織としての我々にとって、まさに変革のときです」

– Dave Kaval氏、  
サンノゼ・アースクエイクス  
会長

ゲームのたびにフィールドを借りていました。ホームグラウンドがないため、観客動員数、ブランディングの取り組み、法人パートナーを引き付けるクラブの能力が伸び悩んでいました。クエイクスのシーズン観客動員数は、MLSチームの中でも最下位から2番目でした。

クエイクスの経営陣は新スタジアムを計画した時点で、ファンが絆を感じられるようなエクスペリエンスを生み出すには、テクノロジーが不可欠であると認識していました。しかし、いかに上手にやるかが問題でした。

「テクノロジーのためのテクノロジーになってしまい、短期間で古くなり、次々新しいハードウェアを投入しなければならない競技場が多すぎます」と、Kaval氏は語っています。「3年先、5年先、10年先でもテクノロジーの最前線に立ち続けることのできるスタジアムを建設するには、どうすればよいかを考えながら、スタジアムのテクノロジーを吟味しました」

クエイクスの首脳陣はテクノロジーを提供するさまざまな事業者と話しましたが、その中でも、現在と将来のニーズに合わせて拡張可能な基盤を提供できるという点において、アバイアが突出していました。アバイアネットワークは、Wi-Fiからビデオカンファレンス、電話まで、広帯域需要を支えるバックボーンを提供します。

「ほかにも、技術革新について語る多くの会社と会いましたが、いかにもビジネス的な感じしかありませんでした」と、Kaval氏は述べています。「アバイアには実に新鮮なアプローチがあり、アースクエイクスにとって、また、シリコンバレーで我々が成し遂げようとしていることにとって、アバイアはまさにうってつけのパートナーです。我々はイノベーションと好奇心、クリエイティブな形で問題に立ち向かう能力を共有しています」

### MLS初のクラウド対応スタジアム

アバイアスタジアムは2015年春にオープンし、クエイクスは2勝しました。最初は、非公式試合でロサンジェルス・ギャラクシー相手に3-2で勝ちました。その次の試合は、MLS初のクラウド対応競技場で行われました。

クラウド対応スタジアムとは、クエイクスが使用するすべてのアプリケーションがAvaya Fabric Connect環境のネットワーク上で動作するという事です。電話とチケット販売のコンタクトセンターに対応するアバイアのソリューションは、ネットワークとの統合が容易であり、クエイクスが導入を決めたものも、同様に容易に統合できます。

## 課題

- ホームスタジアムがないため、観客動員数、ブランディングへの取り組み、法人パートナーを引きつけるクラブの能力が伸び悩み
- シリコンバレーでは、ファンは最高水準のイノベーションとエンゲージメントを期待
- クエイクスの経営陣は、テクノロジーがファンのエクスペリエンスを決定的に左右することを承知しているが、ハードウェアがほんの数年で古くなることを懸念

## 生み出される価値

- クラウド対応の新しいアバイアスタジアムでは、すべてのアプリケーションがAvaya Fabric Connect環境のネットワーク上で稼働
- 電話とチケット販売のコンタクトセンターに対応するアバイアソリューションをネットワークに統合することが容易で、その他、チームが導入を決めたものも同様に、容易に統合可能
- ファンのつながる経験が大きくなればなるほど、チケットの売り上げから企業スポンサー、クエイクス以外のイベントへのスタジアム貸し出しによって、クエイクスの収益も拡大
- アバイアスタジアム初のシーズン、シーズンチケット販売は12,000超、これは2年前の2倍以上
- クエイクスはIT機能がきわめて弱いが、アバイアのプライベートクラウドサービスを大いに活用、その結果、社内で人材を抱える必要性が低下

「ネットワークの弾力性と時間とともに成長できるという能力に、我々は大いに引き付けられ、アバイアと組む事が楽しくてたまりませんでした」とKaval氏は述べています。「クラウドでやり取りできますし、新しい回線の導入や建物のハードウェア変更を心配しなくて済みます。我々のスタジアムはこの先、何年もの間、技術の最前線にとどまるはずですよ」

## 共有型エクスペリエンスを生み出すには

アバイアスタジアムは、他のスタジアムと異なり、どこにも真似のできないようなエクスペリエンスをファンに与えます。18,000人を収容する、ヨーロッパスタイルのオープンエアスタジアムは、千年物の再生カリフォルニア・レッドウッドを建築に使用し、オープンエアでは北米最長のフェンスが自慢です。

このフェンスは、アバイアスタジアムで観客間のエクスペリエンス共有を促す仕掛けの1つにすぎません。スタジアム全体に見られる「ご近所感」が、コアなファン向けの立見エリアからファミリーエリア、ビジターチームのファン向けエリアまで、さまざまなグループにそれぞれの「ホーム」を実現します。

スコアボードの上には、120フィート x 30フィートという、全米第2位の幅のLEDスクリーンがあります。このスクリーンは、スタジアムのWi-Fiを使い、ソーシャルメディアで各自のエクスペリエンスを伝える、ファンのためのスポットになります。クエイクス (Quakes) のハッシュタグを付けて投稿することによって、ファンは大型スクリーンに自分のメッセージや画像が自動的にブロードキャストされる可能性が生まれます。

ファンはテクノロジーによって時間も節約できます。クエイクスのモバイルアプリを利用すると、駐車料金をオンラインで前もって支払ったり、電話のバーコード式eチケットを使用して各ゲームを観戦したりできます。同じアプリを使用して、選手情報を読み、座席から食べ物注文し、プレーからわずか数分後にビデオのリプレーを見たりすることができます。

クラブのオフィスとプライベートな特別室の1つでは、Avaya Videoでライブビデオカンファレンスを開催できます。職員はパートナーと会議を持ち、外国人選手は本国の家族とビデオカンファレンスで連絡を取り、特別室のオーナーは最先端のカンファレンスツールを利用し、アバイアスタジアムでビジネスミーティングを開くことができます。

電話とチケット販売もネットワーク上で稼働するので、サッカークラブのコストを削減し、その一方で、柔軟性が非常に高いコミュニケーションオプションをスタッフに提供することができます。

## 観客動員数の増加、それによる収入増

ファンにとって絆を実感できる経験が増えることがクエイクスにとって、チケット販売から企業スポンサー、クエイクス以外のイベントへのスタジアム貸し出しまで含め、収入増を意味します。

「ネットワークの弾力性と時間とともに成長する能力に、我々は何よりも引き付けられています。アバイアと組むことが楽しくてたまりません。クラウドでやり取りができ、新しい回線の導入や建物のハードウェア変更を心配しなくてすみます。我々のスタジアムはこの先、何年もの間、技術の最前線にとどまるはずですよ」

- Dave Kaval氏、サンノゼ・アースクエイクス会長



### ソリューション

- Avaya Fabric Connect
- Avaya IP Office™
- Avaya Scopia® Video
- Avaya Aura® Platform
- Avaya Virtual Services Platform 7000
- Avaya Virtual Services Platform 8000
- Avaya Ethernetルーティングスイッチ4000シリーズ

### サンノゼ・アースクエイクス (San Jose Earthquakes) について

1974年創立で、最初はサンノゼ「クラッシュ」(San Jose “Clash”)としてNorth American Soccer League (NASL) に所属していました。1994年、メジャーリーグサッカーの設立メンバーとなり、2000年に名称をアースクエイクスに変更しました。アースクエイクスは2001年と2003年の2回、MLSカップを獲得、リーグ最小の敗戦回数を誇り、記録更新のシーズンを何度も積み重ねてきました。アバイアスタジアムのオープンに伴い、クエイクスは初のクラウド対応スタジアムとして、再び歴史を作っています。詳細については、<http://www.sjearthquakes.com/>をご覧ください。

アバイアはサンノゼ・アースクエイクスのスポンサーです。スポンサーとしてのサポートには、出資のほか、物品/サービスの現物寄贈が含まれます。

### アバイア (Avaya Inc.) について

ビジネスはそれを提供する側のエクスペリエンスに基づいて構築されており、毎日何百万ものエクスペリエンスがアバイアによって構築されています。

100年以上にわたり私たちは世界中の組織が顧客や従業員のためのインテリジェントなコミュニケーションエクスペリエンスを生み出すことを可能にしました。

アバイアはクラウド、オンプレミスまたはハイブリッドでコミュニケーションとコラボレーションを強化しシンプルにするオープンで咬合された革新的なソリューションを構築します。

あなたのビジネスを成長させるために私たちはイノベーション、パートナーシップそして焦点を絶え間なく「次のこと」にあてています。

私たちはあなたに信頼していただける、エクスペリエンスを提供するテクノロジーカンパニーです。

詳しくは[www.avaya.com/jp](http://www.avaya.com/jp)をご覧ください。